

# 富士の清流でホタル乱舞 過去最高数上回る勢い 静岡 岡・源兵衛川

社会 | 速報 | 静岡

毎日新聞 | 2023/5/17 13:31 (最終更新 5/17 13:35) 563文字



源兵衛川を飛び交うゲンジボタル=静岡県三島市緑町で2023年5月16日午後8時2分、石川宏撮影

富士山の湧水（ゆうすい）の清流が流れる静岡県三島市の源兵衛川でゲンジボタルが飛び交っている。今年には過去最も早い4月26日に初めて確認され、5月16日までの累計は878匹に上る。過去最高の累計3321匹を確認した2022年を上回りそうな勢いだ。

源兵衛川中流域の「水の苑緑地」の近くでは、闇が深くなり始めた午後7時半ごろから、ホタルが川沿いの草の葉の上で淡い光を明滅させ、水面の上を飛び交う緑の光跡も楽しめる。場所によっては10匹以上のホタルが乱舞することもある。午後9時前にいったん姿を消すが、未明の午前1時から2時ごろに再び姿を見せるという。

源兵衛川のホタルを観測しているのはNPO法人グラウンドワーク三島（GW三島）インストラクターの山口東司（とうじ）さん（80）。09年から毎年、4月下旬から6月下旬まで毎晩、川沿いを往復してホタルの数を数えている。山口さんはホタルが増えたのは、餌のカワニナの放流数が増えた要因が大きいと考えている。「以前は僕一人で約5000個を放流していたが、3年前からGW三島の7、8人が協力し放流数が約3万個に増えた」と話す。

ホタルの出現は5月下旬にピークを迎え、6月中旬まで楽しめる。山口さんは「ホタルが卵を産むので岸边には入らないで。またホタルを持ち帰らないで」と呼びかけている。【石川宏】